

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年10月1日
【事業年度】	第12期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	ディー・ブレイン証券株式会社
【英訳名】	D.Brain Securities Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 出縄 良人
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋茅場町一丁目9番2号
【電話番号】	03(5645)8808(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役業務管理部長 石川 善雄
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋茅場町一丁目9番2号
【電話番号】	03(5645)8808(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役業務管理部長 石川 善雄
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月25日に提出いたしました第12期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 7 財政状態及び経営成績の分析

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

### 第一部 【企業情報】

#### 第2 【事業の状況】

##### 7 【財政状態及び経営成績の分析】

（訂正前）

（1）～（3）＜省略＞

（4）純資産の改善策

当社グループは、前期及び当期連結会計年度において大幅な損失を計上し、現預金及び純資産の大幅減少により財政状態は悪化しております。

その改善施策については、第2 事業の状況 の 4 事業等のリスク に記載しております。

（訂正後）

（1）～（3）＜省略＞

（4）純資産の改善策

（継続企業の前提に関する重要事象について）

当社グループは、第2 事業の状況 4 事業等のリスクの（継続企業の前提に関する重要事象等について）に記載のとおり、継続企業の前提に関する重要事象等が存在すると考えております。

当該事象等を解消し、又は改善するための対応策につきましては、第2 事業の状況 3 対処すべき課題 に記載のとおり、来期（平成22年3月期）においては「変化と対応」を基本テーマとして、コスト構造の見直しによる収益の改善、安定収益構造の確立、グリーンシートの普及と新規銘柄の発掘力強化、グリーンシート銘柄の募集力の強化等を実施し、コストの大幅な削減を図るとともに、安定収益を確保して収支を改善し、業績を回復する予定です。これにより、現預金及び純資産は回復するものと考えております。

以上により、重要事象の改善が図られた場合には、当社において継続企業の前提に重要な不確実性は認められず、継続企業の前提に重要な疑義はありません。